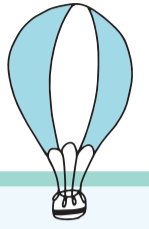


とともに生きる希望条例

関 介護予防・地域支援課
☎5432-2954 ㊟5432-3085



● 認知症観を変えよう! ~認知症観が変わると社会(まち)も変わる

古いイメージ

- ① 他人ごと。自分には関わりがない。目をそらす。
- ② 本人はわからない。できない。本人の声を聴かない。
- ③ 本人が決めるのは無理。まわりが決めてあげるのが当然。
- ④ 支援してあげる。本人は支援される一方。
- ⑤ 地域で暮らすのは無理。

悪循環におちいり、おたがいが暮らしにくい



新しいイメージ

- ① 自分ごと。自分にも関わりがある。備える。
- ② 本人なりにわかる。できることがある。本人の声を聴く。
- ③ 本人が人生の主人公。本人なりの思いがある。自分で決められる。
- ④ 本人が自分のチカラを活かして活躍する、支えあう。
- ⑤ 地域で暮らし続けられる。自分は自分。

良循環が生まれ、おたがいが暮らしやすい



● 身近な地域で、認知症の本人や地域の方がこんな取り組みを行っています

キヌタdeカフェ

誰でも気軽に集まり、おしゃべりができる場として、「認知症カフェ」を開催しています。



★このほかにも、様々な団体が医療や福祉の専門職に相談したり地域の方と交流できる「認知症カフェ」を運営しています。



◀ 認知症カフェについて詳しくはこちら

折り鶴プロジェクト

東京2020大会開催を契機として、認知症の本人や地域の方が作成した折り鶴で、アメリカ国旗・区旗のモザイクアートパネルを作成しました。



サロン かめ アクション講座

桜新町にあるサロンで、アクション講座(世田谷版認知症サポーター養成講座)を開催しました。



身近な あんしんすこやかセンター とつながろう (地域包括支援センター)

区では、「認知症観の転換」や「地域づくり」を推進するため、区独自のテキストや認知症の本人が出演する動画等を活用した「アクション講座(世田谷版認知症サポーター養成講座)」を、各地区のあんしんすこやかセンターで実施しています。ご興味のある方は、ぜひお近くのあんしんすこやかセンターへご連絡ください。



▲アクションガイド(アクション講座用テキスト)はこちら



あんしんすこやかセンターの一覧はこちら▲



「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」制定記念シンポジウム

希望条例の制定を記念して、2年10月25日に、学識経験者による基調講演と、認知症の本人を含めた意見交換を行うシンポジウムを開催しました。



詳しくはこちら▲

「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」施行1周年記念イベント

認知症体験者と語り合おう!! とともに生きる今と未来
~いっしょにつくる希望のまち世田谷~

希望条例のさらなる普及啓発を目的として、3年11月6日に、若年性認知症の丹野智文さんをコーディネーターとしてお迎えし、認知症の本人によるパネルディスカッションを開催しました。



詳しくはこちら▲

